

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月9日

近鉄グループホールディングス株式会社  
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

# 四半期連結損益計算書

(単位：百万円,%)

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率	増 減 要 因
営業収益	399,545	<b>420,161</b>	20,615	5.2	「セグメント別業績」参照
営業利益	22,011	<b>21,774</b>	△ 236	△ 1.1	「セグメント別業績」参照
営業外収益	2,923	<b>3,824</b>	901	30.8	為替差益 582
うち持分法による投資利益	452	<b>708</b>	256	56.7	
営業外費用	5,579	<b>3,363</b>	△ 2,215	△ 39.7	為替差損 △1,106
うち支払利息	2,369	<b>2,729</b>	360	15.2	
経常利益	19,355	<b>22,235</b>	2,880	14.9	
特別利益	1,488	<b>4,000</b>	2,511	168.7	工事負担金等受入額 2,052 連結子会社における退職年金制度変更 386
特別損失	2,288	<b>3,781</b>	1,492	65.2	工事負担金等圧縮額 2,048 特別調査費用等 △515
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,402	<b>12,699</b>	2,296	22.1	

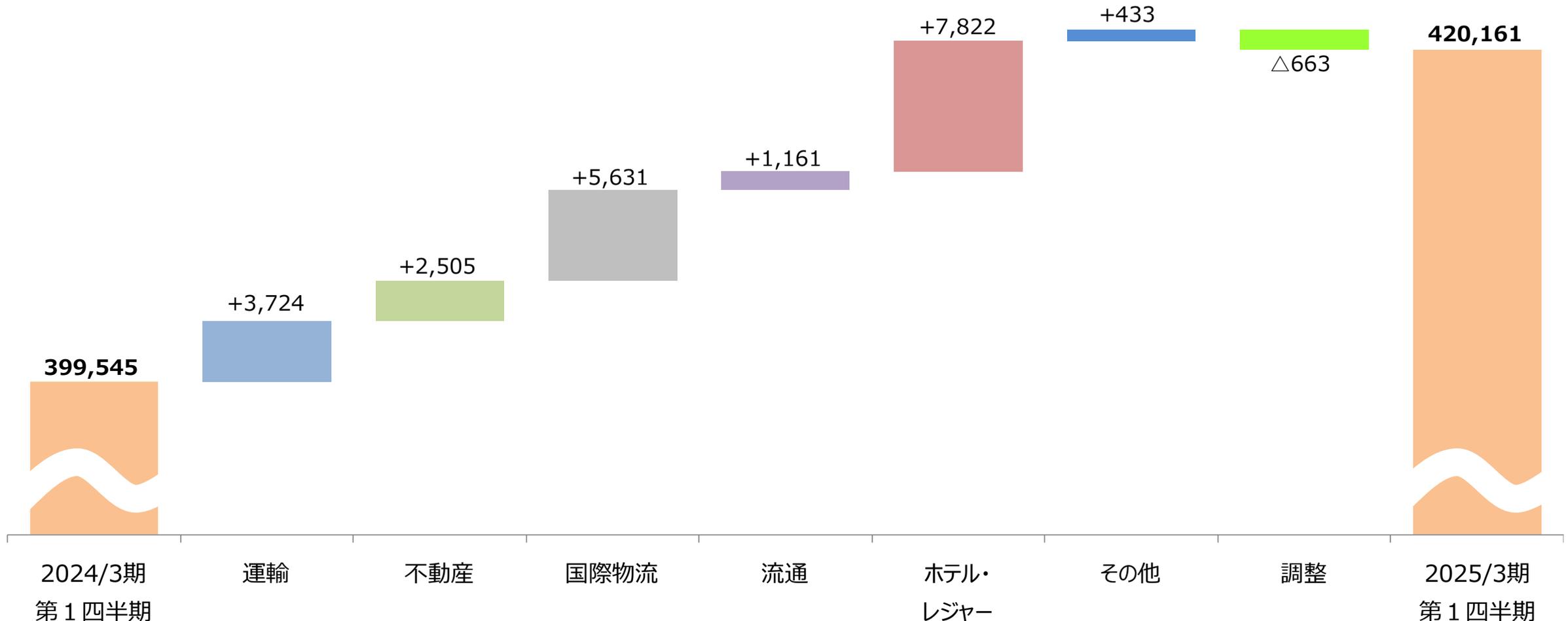
連結子会社数 196社（前期末比増減なし）

持分法適用会社数 10社（前期末比1社減）

# 決算ポイント（営業収益）

アフターコロナの旅客需要、消費需要の回復や、円安進行に伴うインバウンド需要の増加によるB to C事業の増収に加え、運輸業のうち鉄軌道部門で定期運賃改定の効果が本年は期首から寄与し、国際物流業では販売価格の低下が進んだものの円安進行に伴い増収となったため、連結全体で増収

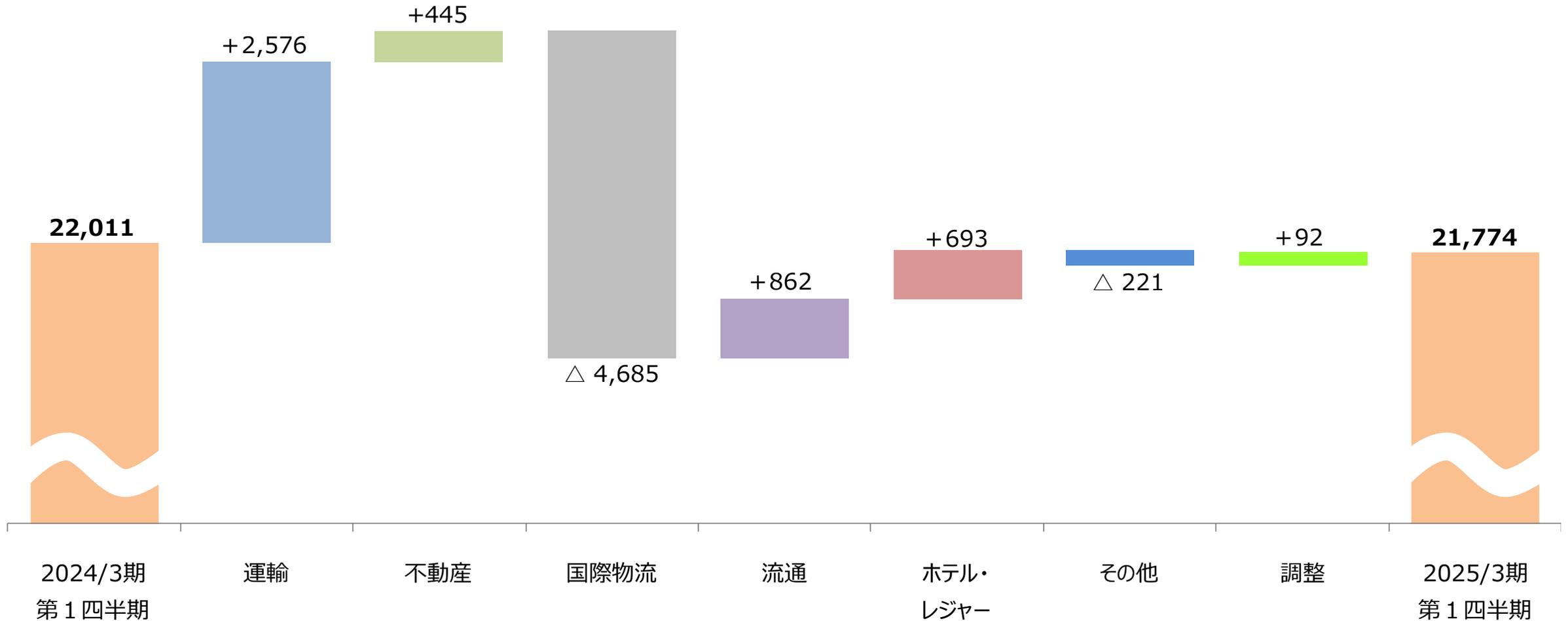
(単位：百万円)



# 決算ポイント（営業損益）

主に B to C 事業で増益となったものの、国際物流業で運賃原価の高騰により利益率が低下したため、連結全体で減益

(単位：百万円)



# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増減	増減率
運 輸	営業収益	50,810	<b>54,535</b>	3,724	7.3
	営業損益	6,452	<b>9,028</b>	2,576	39.9
不 動 産	営業収益	36,366	<b>38,872</b>	2,505	6.9
	営業損益	3,887	<b>4,332</b>	445	11.5
国際物流	営業収益	183,291	<b>188,922</b>	5,631	3.1
	営業損益	5,825	<b>1,140</b>	△ 4,685	△ 80.4
流 通	営業収益	50,752	<b>51,914</b>	1,161	2.3
	営業損益	696	<b>1,558</b>	862	123.9
ホテル・レジャー	営業収益	78,376	<b>86,198</b>	7,822	10.0
	営業損益	3,746	<b>4,439</b>	693	18.5
そ の 他	営業収益	9,307	<b>9,741</b>	433	4.7
	営業損益	1,408	<b>1,187</b>	△ 221	△ 15.7
調 整	営業収益	△ 9,359	△ <b>10,023</b>	△ 663	
	営業損益	△ 4	<b>87</b>	92	
連 結	営業収益	399,545	<b>420,161</b>	20,615	5.2
	営業損益	22,011	<b>21,774</b>	△ 236	△ 1.1

(単位：百万円,%)

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	50,810	<b>54,535</b>	3,724	7.3
鉄軌道	36,963	<b>40,088</b>	3,125	8.5
バス	8,264	<b>8,946</b>	682	8.3
タクシー	2,371	<b>2,428</b>	57	2.4
鉄道施設整備	2,738	<b>2,529</b>	△ 209	△ 7.6
その他運輸関連	2,859	<b>2,855</b>	△ 3	△ 0.1
調整	△ 2,386	△ <b>2,313</b>	72	
営業損益	6,452	<b>9,028</b>	2,576	39.9
(主な内訳) 鉄軌道	5,507	<b>8,029</b>	2,522	45.8
(主な内訳) バス	846	<b>1,031</b>	185	21.9

## 《鉄軌道》

- 新型コロナウイルス感染症の影響が縮小して人流が回復し観光需要も増加傾向にあることに加え、前年4月に実施した定期運賃改定の効果が本年は期首から寄与するため、増収増益

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増減	増減率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	38,624	<b>40,593</b>	1,968	5.1
鉄軌道事業	36,963	<b>40,088</b>	3,125	8.5
旅客収入	35,474	<b>38,569</b>	3,094	8.7
定期外収入	23,789	<b>25,705</b>	1,915	8.1
定期収入	11,685	<b>12,863</b>	1,178	10.1
運輸雑収等	1,489	<b>1,519</b>	30	2.1
その他事業	1,660	<b>504</b>	△ 1,156	△ 69.6
営業損益 (百万円)	5,537	<b>8,027</b>	2,489	45.0
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	133,461	<b>135,857</b>	2,396	1.8
定期外	49,403	<b>52,350</b>	2,947	6.0
定期	84,058	<b>83,507</b>	△ 551	△ 0.7

(単位：百万円,%)

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	36,366	<b>38,872</b>	2,505	6.9
不動産販売	17,761	<b>19,563</b>	1,802	10.1
不動産賃貸	9,841	<b>9,911</b>	70	0.7
不動産管理	9,652	<b>10,263</b>	611	6.3
調整	△ 888	△ <b>867</b>	21	
営業損益	3,887	<b>4,332</b>	445	11.5
(主な内訳) 不動産販売	1,331	<b>1,910</b>	578	43.4
不動産賃貸	2,300	<b>2,216</b>	△ 84	△ 3.7

«不動産販売»

- ・ マンション分譲戸数が増加したこと等により増収増益

(単位：百万円,%)

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	183,291	<b>188,922</b>	5,631	3.1
日台韓	51,347	<b>48,311</b>	△ 3,035	△ 5.9
米州	24,454	<b>23,574</b>	△ 880	△ 3.6
欧州・中近東・アフリカ	13,759	<b>13,846</b>	86	0.6
東アジア	23,911	<b>26,859</b>	2,947	12.3
東南アジア・オセアニア	21,551	<b>24,912</b>	3,361	15.6
APLL	52,698	<b>55,972</b>	3,273	6.2
その他	1,464	<b>1,715</b>	251	17.1
調整	△ 5,896	△ <b>6,268</b>	△ 372	
営業損益	5,825	<b>1,140</b>	△ 4,685	△ 80.4
日台韓	2,362	<b>670</b>	△ 1,692	△ 71.6
米州	2,364	<b>978</b>	△ 1,386	△ 58.6
欧州・中近東・アフリカ	1,060	<b>204</b>	△ 855	△ 80.7
東アジア	320	△ <b>279</b>	△ 600	—
東南アジア・オセアニア	783	<b>206</b>	△ 577	△ 73.7
APLL	717	<b>1,103</b>	385	53.7
その他	139	<b>180</b>	40	29.1

(主な内訳)

- 競合他社との価格競争の激化等もあり販売価格の低下が進み現地通貨ベースでは減収となったものの、円安進行に伴い円換算ベースでは増収
- 運賃原価の高騰により利益率が低下したため減益

		2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率(%)
〈収支〉					
営業収入	(百万円)	183,291	<b>188,922</b>	5,631	3.1
(主な内訳)	航空貨物輸送	65,056	<b>62,930</b>	△ 2,125	△ 3.3
	海上貨物輸送	52,144	<b>55,347</b>	3,202	6.1
	ロジスティクス	55,393	<b>58,593</b>	3,199	5.8
営業総利益	(百万円)	29,754	<b>27,087</b>	△ 2,666	△ 9.0
営業損益	(百万円)	5,825	<b>1,140</b>	△ 4,685	△ 80.4
〈物量〉					
航空輸出重量	(千トン)	120	<b>122</b>	2	1.8
海上輸出物量	(千TEU)	177	<b>182</b>	5	3.1

(単位：百万円,%)

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	50,752	<b>51,914</b>	1,161	2.3
百貨店	26,632	<b>27,632</b>	1,000	3.8
ストア・飲食	24,120	<b>24,281</b>	160	0.7
調整	—	—	—	
営業損益	696	<b>1,558</b>	862	123.9
(主な内訳) 百貨店	220	<b>928</b>	707	321.1
ストア・飲食	475	<b>630</b>	154	32.5

#### 《百貨店》

- あべのハルカス近鉄本店においてインバウンド向けの免税売上が大幅に増加したほか、ハルカス開業10周年イベントの開催や改装効果により増収増益

#### 《ストア・飲食》

- 観光需要の回復により駅ナカ店舗やレストランで利用客が増加したため増収増益

(単位：百万円,%)

	2024/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	78,376	<b>86,198</b>	7,822	10.0
ホテル	9,707	<b>11,424</b>	1,717	17.7
旅行	63,907	<b>68,844</b>	4,936	7.7
映画	889	<b>960</b>	71	8.0
水族館	2,190	<b>2,422</b>	231	10.6
観光施設	1,680	<b>2,581</b>	901	53.6
調整	—	△ 35	△ 35	
営業損益	3,746	<b>4,439</b>	693	18.5
(主な内訳)				
ホテル	455	<b>1,088</b>	632	138.9
旅行	2,608	<b>1,807</b>	△ 800	△ 30.7
水族館	803	<b>930</b>	127	15.8

## 《ホテル》

- インバウンド需要の増加等により宿泊利用が大きく増加したため増収増益

## 《旅行》

- 旅行需要は回復している一方で、旅行業以外の業務受託の減により増収減益

# 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期 第1四半期	増 減	増 減 要 因
流動資産	720,811	<b>720,220</b>	△ 590	
固定資産	1,731,615	<b>1,742,554</b>	10,938	
うちのれん	59,264	<b>58,453</b>	△ 811	
資産合計	2,454,316	<b>2,464,545</b>	10,229	
流動負債	713,284	<b>744,006</b>	30,721	短期借入金 11,579
固定負債	1,155,381	<b>1,115,654</b>	△ 39,727	長期借入金 △19,822
負債合計	1,868,666	<b>1,859,660</b>	△ 9,005	
純資産合計	585,650	<b>604,885</b>	19,235	
うち利益剰余金	202,990	<b>206,150</b>	3,160	純利益 12,699、配当金 △9,523
うちその他の包括利益累計額	138,729	<b>151,705</b>	12,976	為替換算調整勘定 12,388
負債・純資産合計	2,454,316	<b>2,464,545</b>	10,229	
純有利子負債残高	1,001,088	<b>1,009,509</b>	8,421	
借入金	864,839	<b>856,596</b>	△ 8,242	
社債（コマーシャルペーパー含む）	372,054	<b>371,200</b>	△ 854	
リース債務（IFRS第16号による計上分を除く）	31,164	<b>30,160</b>	△ 1,004	
現金及び預金(△)	△ 266,970	△ <b>248,447</b>	18,522	

- 2025/3期から、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）等を適用しております（過年度に遡及適用し、2024/3期末時点の累計で固定負債2,552百万円減少・利益剰余金2,552百万円増加）

お問合せ先

総合政策部

Tel : 06-6775-3478

Fax : 06-6775-3467

Mail : [ir-info@rw.kintetsu.co.jp](mailto:ir-info@rw.kintetsu.co.jp)